

本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。  
 そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、5領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

### 本単元におけるゴールとなる言語活動

「横浜のよさをもっと知ってもらうために、季節ごとの横浜の魅力を紹介しよう！」

指導計画 1 / 8 時間 (pp.66-67)

本時目標：(仮)日本の四季や文化についてやり取りのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な表現：Why do you like～? We have ～in … What do you do on～. I usually ～. など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD), 指導者用絵カード、ワークシート (WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。	
	<b>【Small Talk】</b> ・pp.66-67を見て、どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して、英語を聞いたり話したりする。	・pp.66-67を見て、どのような場面が示されているか、慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。 ※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。	
展開 32分	<b>【めあての確認】</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           (仮)日本の四季や文化についてやり取りのおおよその内容を理解しよう。         </div>		
	・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。	・本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	<b>【Let's sing】 Yokoso!</b> ・曲を聞き、歌えるところを歌う。	・一度曲を流し、内容について質問する。 ・PDのp.28の「年中行事」を見せてもよい。 ・曲を再度流し、歌えるところを歌うように声かけする。	指導者用デジタルブック  PD
<b>【Word Link】</b> PDのp.14 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">季節</span> ・「季節」の単語を復唱する。	・音声を使って、「季節」の単語を復唱しながら確認できるようにする。	指導者用デジタルブック	

	<p><b>【Let's try ①】</b> ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言われた PD の単語に触る。</li> <li>・指導者の指す絵カードの単語を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が言った PD の単語に触れるよう伝える。</li> <li>・指導者が出した絵カードの単語を言うよう指示する。</li> </ul>	PD 教師用絵カード
	<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>① What do you like winter?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツを聞き、言えるところを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度チャンツを流し、内容について質問する。</li> <li>・チャンツを再度流し、言えるところを言うように励ます。</li> <li>・We have～.の表現に慣れ親しむことができるようにする。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	<p><b>【Starting Out】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1～5 の音声や映像を聞いて、A～E の□に聞こえた順に番号を記入する。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・音声や映像から分かったこと、気付いたことを WS の 1 に記入する。</li> <li>・分かったこと、気付いたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの場所や登場人物の名前を確認する。</li> <li>・No.1～5 の音声を聞かせて、A～E の□に聞こえた順に番号を記入するよう伝える。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・WS を配り、音声や映像を再度流し、分かったことや気付いたことを WS の 1 に記入することを伝える。必要に応じて、複数回聞かせる。</li> <li>・分かったこと、気付いたことなどを尋ねる。</li> <li>・No.3(A)の音声や映像をもう一度視聴しながら、表現を確認できるようにする。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> ○<input type="checkbox"/>主 (日本の四季や文化についてのやり取りを主体的に聞き取り、理解しようとしている)</p>	指導者用デジタルブック  WS
文字 指導 5分	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Animals Jingle を歌う。特に Aa～Cc の文字と音に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットには、名前と音があることを確認する。</li> <li>・アルファベットチャートで、Aa～Cc の名前と音を確認する。</li> <li>・p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。</li> <li>・Animals Jingle を歌う。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> *<input type="checkbox"/>知 (Animals Jingle を通じ、Aa～Cc の名前を発音でき、その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ)</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が挙げた気づきに価値付けを行う。</li><li>・挨拶をする。</li></ul>	
--	--	---	--

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

指導計画 2 / 8時間 (pp.66-67)

本時目標：(仮) 日本の四季や文化についてやり取りのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料：Why do you like～? We have ～in … What do you do on～? I usually … など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，指導者用絵カード，ワークシート (WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間に行っていた遊びの話から，日本の古くからの遊びの話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い，本單元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 32分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <p>(仮) 日本の四季や文化についてやり取りのおおよその内容を理解しよう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Word Link】</b> PD の p.6 <b>形</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「形」の単語を復唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を使って，「形」の単語を復唱しながら確認できるようにする。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	<p><b>【Let's try ①】</b> ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言われた PD の単語に触る。</li> <li>指導者の指す絵カードの単語を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が言った PD の単語に触れるよう伝える。</li> <li>指導者が出した絵カードの単語を言うよう指示する。</li> </ul>	PD 教師用絵カード
	<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>②What do you do on New Year's Day?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを聞き，言えるところを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度チャンツを流し，内容について質問する。</li> <li>チャンツを再度流し，言えるところを言うように励ます。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
<p><b>【Starting Out】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WS の 1 を見ながら，No.1～5 の音声や映像を視聴する。</li> <li>No.3 (A) の音声や映像を視聴し，WS の 2 に答えを記入する。</li> <li>答え合わせをする。</li> <li>No.3 (A) の音声や映像をもう一度視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>WS を配り，WS の 1 を確認した上で，No.1～5 の音声や映像を視聴するよう伝える。</li> <li>No.3(A) の音声や映像を視聴させ，WS の 2 に答えを記入させる。必要であれば複数回視聴させる。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>	指導者用デジタルブック WS	

	<p>聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・No.3(A)の音声や映像をもう一度視聴させ、表現を確認する。</li> <li>【評価】○<input type="checkbox"/>主 (地域の身近な人を紹介するやり取りを主体的に聞き取り，理解しようとしている)</li> </ul>	
	<p><b>【Let's Watch and Think】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声や映像を視聴し，答えを線でつなぐ。</li> <li>・答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの写真や絵の内容を確認する。</li> <li>・音声や映像を視聴し，答えを線でつなぐよう伝える。必要であれば，複数回聞かせる。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・答え合わせのとき，ロシア，ドイツ，アメリカについて知っていることがあるか尋ねる。</li> </ul>	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>文字指導 5分</p>	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Animals Jingle を歌う。特に Dd～Ff の文字と音に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで，Dd～Ff の名前と音を確認する。</li> <li>・p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。</li> <li>・Animals Jingle を歌う。</li> <li>【評価】*<input type="checkbox"/>知 (Animals Jingle を通じ，Dd～Ff の名前を発音でき，その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ)</li> </ul>	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り，言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。</li> <li>・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

指導計画 3 / 8 時間 (p.68)

本時目標：(仮) 日本の遊びや年中行事について、ペアでクイズを出し合うことができるようにする。

主な言語材料：We have ~in ... You can~. It's ~. など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本单元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな季節の話から、日本の年中行事の話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本单元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 32分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <p>(仮) 日本の遊びや年中行事について、ペアでクイズを出し合おう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Word Link】</b> PD の p.27 <b>遊びなど</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「遊びなど」の単語を復唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を使って、「遊びなど」の単語を復唱しながら確認できるようにする。</li> </ul>	指導者用デジタルブック PD
	<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>① What do you like winter? ②What do you do on New Year's Day?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを聞き、言えるところを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを流し、一緒に言う。</li> </ul>	
	<p><b>【Let's Listen ①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声を聞いて、答えを線で結ぶ。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面の登場人物と絵の内容を確認する。</li> <li>音声を流して、答えを線で結ぶよう伝える。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> ◎<b>知</b> (日本の遊びや年中行事についてのやり取りで使用される語句や表現が身についている)</p>	指導者用デジタルブック

	<p><b>【Let's Listen ②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞いて，答えを線で結ぶ。</li> <li>・答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面の写真の内容を確認する。</li> <li>・音声を流して，答えを線で結ぶよう伝える。</li> <li>・答え合わせをする。</li> </ul> <p><b>【評価】</b>◎<input checked="" type="checkbox"/>知（日本の遊びや年中行事についてのやり取りで使用される語句や表現が身につけている）</p>	
	<p><b>【Let's try②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とペアでクイズを出し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET（または児童）とモデル会話をを行う。</li> <li>・友達とペアでクイズを出し合うよう指示する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b>○<input checked="" type="checkbox"/>思（日本の遊びや年中行事についてのやり取りについて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，やり取りをしている）</p>	
文字 指導 5分	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Animals Jingle を歌う。特に Gg～Ii の文字と音に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで，Gg～Ii の名前と音を確認する。</li> <li>・p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。</li> <li>・Animals Jingle を歌う。</li> </ul> <p><b>【評価】</b>*<input checked="" type="checkbox"/>知（Animals Jingle を通じ，Gg～Ii の名前を発音でき，その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り，コミュニケーションの図り方や言語に関する事で気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。</li> <li>・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

指導計画 4 / 8 時間 (pp.69 - 71)

本時目標：(仮) 日本の年中行事で、することや食べるものについて尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料： We have ~in ... You can~. It's ~. What do you do on~. I usually ~. など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，巻末コミュニケーションカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな季節の話から、誕生日の話へ</li> <li>誕生日の話から、各月の日本の年中行事について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 32分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <p>(仮) 日本の年中行事で、することや食べるものについて尋ね合おう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Word Link】</b> PD の p.28 <b>年中行事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「年中行事」の単語を復唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を使って、「年中行事」の単語を復唱しながら確認できるようにする。</li> </ul>	指導者用デジタルブック PD
	<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>① What do you like winter? ② What do you do on New Year's Day?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを聞き、言えるところを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを流し、一緒に言う。</li> </ul>	
	<p><b>【Let's try③】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな季節とその季節にすることや、できることをペアで伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AET (または児童) とモデル会話を行う。</li> <li>好きな季節とその季節にすることや、できることをペアで伝え合うよう指示する。</li> <li>PD の p.28 を参照させてもよい。</li> </ul>	
<p><b>【Let's Listen ③】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声を聞いて、答えを線で結ぶ。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を聞いて、答えを線で結ぶように伝える。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>	指導者用デジタルブック	



	<p><b>【Let's try④】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【Let's try③】で選んだ季節と行事について、その行事で「すること」「食べるもの」などを考え、ペアで尋ね合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET（または児童）とモデル会話をを行う。</li> <li>・【Let's try③】で選んだ季節と行事について、その行事で「すること」「食べるもの」などを考え、ペアで尋ね合うよう伝える。</li> <li>・【評価】○<b>思</b>（日本の遊びや年中行事についてのやり取りについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、やり取りをしている）</li> </ul>	
	<p><b>【Step1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の四季ポストカード」に好きな季節や行事の絵と単語をかく。</li> <li>・好きな季節とその理由についてペアで尋ね合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET（または児童）とモデル会話をを行う。</li> <li>・巻末コミュニケーションカード「日本の四季ポストカード」に好きな季節や行事の絵と単語をかくよう伝える。</li> <li>・ペアで尋ね合うよう指示する。</li> <li>・【評価】○<b>思</b>（日本の四季のポストカードを作って「日本のすてき」をアピールする活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、やり取りをしている）</li> </ul>	巻末コミュニケーションカード
文字指導 5分	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Animals Jingle を歌う。特に Jj~Ll の文字と音に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで、Jj~Ll の名前と音を確認する。</li> <li>・p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。</li> <li>・Animals Jingle を歌う。</li> <li>・【評価】*<b>知</b>（Animals Jingle を通じ、Jj~Ll の名前を発音でき、その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ）</li> </ul>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。</li> <li>・児童が挙げた気付きに価値付けを行う。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

指導計画 5 / 8 時間 (pp.72-73)

本時目標：(仮) 世界に広がる日本文化について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：My name is～. I'm ～. I'm from～. I live in～. など

準備：指導者用デジタルブック，巻末コミュニケーションカード，ふり返しシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>pp.72-73 を見て，どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して，英語を聞いたり話したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>pp.72-73 を見て，どのような場面が示されているか，慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。</li> <li>※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> </ul>	
展開 30分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) 世界に広がる日本文化について考え，世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Let's sing】 Yokoso!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲を聞き，歌えるところを歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に歌う。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	<p><b>【Do you know?】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界に広がる日本の文化について考え，発表する。</li> <li>クイズの答えの番号に○をつける。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌舞伎をはじめとする伝統文化や和食，日本の漫画やアニメーションなどについて尋ねる。</li> <li>外国人旅行者が日本のどのようなところに魅力を感じるのかを尋ねる。</li> <li>クイズの答えの番号に○をつけるよう伝える。</li> <li>答え合わせをする。</li> <li><b>【評価】</b> ○<input checked="" type="checkbox"/> (世界に広がる日本文化について主体的に知ろうとし，世界と日本についての理解を深めようとしている。)</li> </ul>	
	<p><b>【ことば探検】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙面に記載されている，英語として国際的に使われている日本語を確認する。</li> <li>記載されていないが，国際的に使われている日本語があるかどうかを尋ね</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面に記載されている，英語として国際的に使われている日本語を確認する。</li> <li>記載されていないが，国際的に使われている日本語があるかどうかを尋ね</li> </ul>	指導者用デジタルブック PD 教師用絵カード，

	<p>ている日本語があるかどうかを考える。</p> <p>【日本のすてき】Suzanne Ross (スザン・ロス) さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Suzanne Ross さんについての映像や音声を視聴し、おおよその内容を理解する。</li> <li>・ 空欄に答えを記入する。</li> <li>・ 答え合わせをする。</li> </ul>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まず全体を1回流し、その映像や音声を通じて、Suzanne Ross さんがどんな仕事をしているかを聞き、答えを空欄に日本語で記述するよう伝える。</li> <li>・ Suzanne Ross さんの仕事が漆の芸術家 (Urushi artist) であることを確認する。</li> <li>・ もう一度視聴させ、分かったことを記入するよう伝える。以下のようなヒントを与えてもよい。児童が理解していない様なら、複数回聞かせる。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 出身地 (イギリス)</li> <li>2) 今住んでいるところ (輪島市)</li> <li>3) 漆に塗るもの (金や銀)</li> </ol> <p>【評価】<input checked="" type="checkbox"/>○ (世界と日本についての理解を深めようとしている。)</p>	
<p>文字指導 5分</p>	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Animals Jingle を歌う。特に Mm~Oo の文字と音に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルファベットチャートで、Mm~Oo の名前と音を確認する。</li> <li>・ p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。</li> <li>・ Animals Jingle を歌う。</li> </ul> <p>【評価】*<input checked="" type="checkbox"/> (Animals Jingle を通じ、Mm~Oo の名前を発音でき、その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふり返しカードに記入する。</li> <li>・ 文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。</li> <li>・ 疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。</li> <li>・ 児童が発表した気付きに価値付けする。</li> <li>・ ふり返しにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。</li> <li>・ 挨拶をする。</li> </ul>	<p>ふり返しカード</p>

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

指導計画 6 / 8時間 (pp.70-71)

本時目標：(仮)好きな季節やその理由，行事でどんなことをするかを尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：We have～in Yokohama. Do you like～? など

準備：指導者用デジタルブック，ピクチャーディクショナリー (PD)，巻末コミュニケーションカード，  
ふり返しシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本単元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の年中行事の話から，横浜の年中行事（イベント等も含む）の話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い，本単元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 32分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <p>(仮)好きな季節やその理由，行事でどんなことをするかを尋ね合おう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Step 2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【Step 1】でカードを見せながら，季節で行う行事でどのようなことをするかについて，ペアで伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AET（または児童）とデモンストレーションを行う。</li> <li>【Step 1】でカードを見せながら，ペアで伝え合うよう伝える。</li> <li>すでに【Let's try③，④】で活用した表現も生かしながら，やり取りを広げることが伝える。</li> <li>【評価】◎<b>思</b>（「日本のすてき」をアピールする活動を通じて，学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして，主体的に紹介し合っている）</li> </ul>	
<p><b>【Step 3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションを見て，活動の流れとポイントを理解する。</li> <li>「日本の四季ポストカード」を示して，好きな季節やその季節に行う行事，選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AET（または，児童）とデモンストレーションを行い，活動の見通しをもてるようにする。</li> </ul>	巻末コミュニケーションカード	

	<p>んだ理由などを紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達から聞いた情報を、紙面に書く。</li> <li>・使用したカードを、p.82 に貼る。</li> </ul> <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hello. B: Hello. A: What season do you like? B: I like winter. A: Why do you like winter? B: We have Setsubun in winter. A: What do you do on Setsubun? B: I usually throw beans. It's fun. A: Oh, really?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。</li> <li>・「日本の四季ポストカード」を示して、好きな季節やその季節に行う行事、選んだ理由などを紹介し合うよう伝える。</li> <li>・友達から聞いた情報を、紙面に書くよう指示する。</li> <li>・使用したカードを、p.82 に貼るよう伝える。</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>◎<input checked="" type="checkbox"/> (「日本のすてき」をアピールする活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、主体的に紹介し合っている)</p> <p>○<input type="checkbox"/> (「日本のすてき」をアピールする活動を通じて、他者に配慮しながら主体的に紹介している)</p>	
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。</li> <li>・活動の前半をふり返し、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。</li> </ul>	
	<p>【Step3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。</li> </ul>	
	<p>【次時の活動に向けた準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを見て、活動の流れを理解する。</li> <li>・発表したい内容を考え、タブレットを用いて準備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET（または、児童）とデモンストレーションを行い、活動の見通しをもてるようにする。</li> <li>・指導者が作成した資料を示す。</li> <li>・タブレットを用いて準備するよう伝える。</li> </ul> <p>※準備時間を十分に確保できない場合は、次時までには作成できるよう機会を確保する。</p>	<p>タブレット</p>
<p>文字指導</p>	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Animals Jingle を歌う。特に Pp～Ss</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで、Pp～Ss の名前と音を確認する。</li> </ul>	<p>指導者用デジタルブック</p>

5分	の文字と音に慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。</li> <li>・ Animals Jingle を歌う。</li> <li>【評価】 *<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">知</span> (Animals Jingle を通じ, Pp~Ss の名前を発音でき, その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ)</li> </ul>	
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふり返りカードに記入する。</li> <li>・ コミュニケーションの回り方に関する気づきや, 言語に関する事で気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時をふり返り, 児童のよかったところをほめる。</li> <li>・ 「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。</li> <li>・ 児童が発表した気づきに価値付けする。</li> <li>・ 挨拶をする。</li> </ul>	ふり返りカード

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

指導計画 7 / 8 時間 (pp.70-71)

本時目標：(仮) 横浜の四季ポストカードを使って「横浜の魅力」を紹介することができるようにする。

主な言語材料： We have ～. We can ～. I usually ～. など

準備：ピクチャーディクショナリー (PD),

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>横浜の年中行事（イベント等も含む）の話から、それらの際にすることや、できることの話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 30分	<p><b>【めあての確認】</b></p>		
	<p>(仮) 横浜の四季ポストカードを使って「横浜の魅力」を紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	

	<p><b>【Step 3 をアレンジした活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを見て、活動の流れとポイントを理解する。</li> <li>・タブレットで紹介する資料を示しながら、横浜の魅力をやり取りする。</li> </ul> <p>[会話モデル例]</p> <p>C: Hello.</p> <p>A: Hello.</p> <p>What season do you like?</p> <p>C: I like winter.</p> <p>A: Why do you like winter?</p> <p>C: We can skate at Red Brick Warehouse in winter.</p> <p>A: Good!</p> <p>C: And we can see Christmas lights (illumination) at Minatomirai.</p> <p>It's beautiful.</p> <p>A: Oh, really?</p> <p>Thank you.</p> <p>C: Have fun!</p> <p>(C= 児童, A=AET)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET (または、児童) とデモンストレーションを行い、活動の見通しをもてるようにする。</li> <li>・児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。</li> <li>・複数の季節を回答し、それぞれの季節における魅力を紹介してもよい</li> <li>・困り感のある児童に対し、個別に支援する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>◎<input checked="" type="checkbox"/> (横浜の魅力をアピールする活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、主体的に紹介し合っている)</p> <p>○<input type="checkbox"/> (横浜の魅力をアピールする活動を通じて、他者に配慮しながら主体的に紹介している)</p>	<p>タブレット</p>
	<p><b>【中間のふり返し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。</li> <li>・活動の前半をふり返し、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。</li> </ul>	
	<p><b>【Step 3 をアレンジした活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。</li> </ul>	
<p>文字指導 5分</p>	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Animals Jingle を歌う。特に Tt~Ww の文字と音に慣れ親しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで、Tt~Ww の名前と音を確認する。</li> <li>・p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。</li> <li>・Animals Jingle を歌う。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> *<input checked="" type="checkbox"/> (Animals Jingle を通じ、Tt~Ww の名前を発音でき、その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり返しカードに記入する。</li> <li>・コミュニケーションの図り方に関する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返し、児童のよかったところをほめる。</li> </ul>	<p>ふり返しカード</p>



	気付きや、言語に関することで気付いたこと等を発表する。	<ul style="list-style-type: none"><li>・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。</li><li>・児童が発表した気付きに価値付けする。</li><li>・挨拶をする。</li></ul>	
--	-----------------------------	--	--

## Unit 7 Welcome to Japan. (pp.66-73)

指導計画 8 / 8時間 国際理解教室

本時目標：(仮)世界に広がる日本文化について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：We have ~. We can ~. I usually ~. など

準備：タブレット、ふり返しシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物	
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>IUIの国の言葉やジェスチャーを用いて、IUIや児童同士で挨拶を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に、IUIの国の言葉やジェスチャーを用いて、IUIと挨拶を行う。</li> </ul>		
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界で行われている行事の話</li> <li>世界に広まっている日本の文化の話</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>		
展開 25分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮)世界に広がる日本文化について考え、世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>IUIの母国の文化や風習について、日本と比較しながら、共通点や相違点を見出す。</li> <li>IUIの母国に広まっている日本の文化、有名な物等に関する情報を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>IUIが示す情報や学習のテーマを <b>Over the Horizon</b> と関連付くようにする。</li> </ul>		
	<p><b>【Q&amp;A】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、児童とIUIの意思疎通をサポートする。</li> </ul>		
<p><b>【Challengeをアレンジした活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションを見て、活動の流れとポイントを理解する。</li> <li>タブレットで紹介する資料を示しながら、横浜の魅力を発表する。</li> </ul> <p>[会話モデル例] C: Hello.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションを行い、活動の見通しをもてるようにする。</li> <li>児童の実態をふまえて設定した、コミュニケーションを図る上で育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較でき</li> </ul>	タブレット		

	<p>I like winter. We can skate at Red Brick Warehouse in winter. And we can see Christmas lights (illumination) at Minatomirai. It's beautiful. Have fun! Thank you.</p>	<p>るようにする。 ・困り感のある児童に対し、個別に支援する。  【評価】 ◎<input checked="" type="checkbox"/> (横浜の魅力をアピールする活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、主体的に紹介し合っている) ○<input type="checkbox"/> (横浜の魅力をアピールする活動を通じて、他者に配慮しながら主体的に紹介している)</p>	
	<p>【中間のふり返し】 ・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。</p>	<p>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。 ・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。</p>	
	<p>【Challenge をアレンジした活動】 ・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。</p>	<p>・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。</p>	タブレット
文字指導 5分	<p>【Sounds and Letters】 ・Animals Jingle を歌う。特に Xx~Zz の文字と音に慣れ親しむ。</p>	<p>・アルファベットチャートで、Xx~Zz の名前と音を確認する。 ・p.96 の Animals Jingle の音声や映像を流す。 ・Animals Jingle を歌う。 【評価】 *<input checked="" type="checkbox"/> (Animals Jingle を通じ、Xx~Zz の名前を発音でき、その音とそれを含む語彙に慣れ親しむ)</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 5分	<p>・ふり返りカードに記入する。 ・文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。 ・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。</p>	<p>・児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。 ・児童が発表した気付きに価値付けする。 ・ふり返りにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。 ・挨拶をする。</p>	ふり返りカード